

アニメ・マンガの日本語 ～ジャンル用語の特徴をめぐって～

熊野七絵

1. はじめに

海外における日本のアニメ・マンガの普及と人気の高さが、日本語を学ぶ主要なきっかけとなっていることは既に疑いの余地はなく、日本語教育においても、学習の動機づけの役割や、アニメ・マンガ自体の教材としての可能性についての指摘がなされ、活用の兆しが出てきている。熊野・廣利（2008）では、海外におけるアニメ・マンガの普及や日本語教育への活用の現状（教材、実践、研究等）について報告し、熊野（2010a）では日本語学習のきっかけ、動機づけとしてのアニメ・マンガに関する先行調査を概観するとともに、32カ国・地域のアニメ・マンガ好きの日本語学習者74名を対象とした聞き取り調査を実施し、学習者に人気のアニメ・マンガ、学習者のアニメ・マンガとの接し方、学習者とアニメ・マンガの日本語、ニーズについて報告している。

これらアニメ・マンガ好きの学習者のニーズ調査の結果、教科書や辞書では学べないような、アニメ・マンガに特徴的な多様な日本語についての紹介、解説が求められていることがわかった。そこで、国際交流基金関西国際センターでは、海外で人気のある実際のアニメ・マンガ作品から、その日本語の特徴を抽出・分析し、アニメ・マンガに現れるキャラクターやジャンルの日本語表現を楽しく学べるWebサイト「アニメ・マンガの日本語」（<http://anime-manga.jp>）を開発し、2010年2月に公開した（熊野2010b、熊野・川嶋2011）。同サイトでは、アニメ・マンガに現れるさまざまなキャラクター（男の子、女の子、野郎、侍、おじいさん、執事、お嬢様、大阪人）の特徴的な表現（一言フレーズ、文型・表現、呼称、発音変化）、4つのジャンル（恋愛、学校、忍者、侍）の特徴的な表現（用語、漢字、場面別フレーズ・オノマトペ）を、アニメ・マンガの世界観を生かした4種類のコンテンツ（「キャラクター表現」、ジャンル別に展開する「用語クイズ」「漢字ゲーム」「場面別表現」）で、クイズやゲームなどを通じて楽しく学ぶことができる。

このサイト開発において、海外で人気のあるマンガから抽出したセリフ、語彙、オノマトペ、漢字などの下調べ項目数は35000項目にのぼり、そのうちサイトコンテンツデータとしては、7000項目の「キャラクター表現」と「ジャンル表現」を選定した。これらの表現には教科書や辞書に現れる形式や内容とは異なる「アニメ・マンガ」の表現の特徴といえるようなものが現れていた。

そこで、本稿ではこれらの表現のうち、「ジャンル表現」の中の「用語」に焦点を当て、その特徴を数値的、また質的に分析する。また、分析結果に基づき、アニメ・マンガに現れるジャンル用語を日本語教育にどのように活用できるのかについて検討する。

2. ジャンル用語データ抽出の概要

アニメ・マンガからのジャンル用語データ抽出は、以下のように行った。

2.1 対象作品

海外で人気のあるアニメ・マンガとして収集した168作品の中から、4つのジャンルに該当する69作品を選んだ。ジャンル別の該当作品は表1の通りである。特に人気の高い作品については3～6巻までを、その他は第1巻を対象とした。学校ジャンルは人気上位作品が多いため、他ジャンルと比べ、対象作品自体が非常に多かった。一方、忍者に関しては、該当作品が限られていたため、人気上位ではない作品や、忍者が登場するシーンのみを対象としたものもある。

アニメとマンガの表現の違いについては、数作品の表現を比較した結果、セリフにおける表現には、アニメに現れる音声の特徴とマンガにおける表記上の特徴以外は、アニメとマンガの間に大きな差はないことが認められた。そこで、ジャンル用語の抽出においては、マンガのセリフ部分を抽出対象とした。

表1 ジャンル用語データ抽出対象作品

ジャンル	作品数	対象作品
恋愛	13	NANA、のだめカンタービレ、フルーツバスケット、ヴァンパイア騎士、彼氏彼女の事情、絶対彼氏、ハッピーマニア、高校デビュー、MARS、潔く柔く、花より男子、純愛特攻隊長、快感フレーズ
学校	44	フルーツバスケット、涼宮ハルヒの憂鬱、家庭教師ヒットマン REBORN、スクールランブル、魔法先生 ネギま!、ドラゴン桜、GTO、ごくせん、カードキャプターさくら、桜蘭高校ホスト部、花より男子、セーラームーン、テニスの王子様、花ざかりの君たちへ、かりん、ロザリオとヴァンパイア、ラブラック、君のいる町、潔く柔く、君に届け、会長はメイド様、メイちゃんの執事、ケロロ軍曹、あいこら、ちびまる子ちゃん、今日恋をはじめます、トラドラ、カラクリオデット、ちよびっつ、ラブ・コン、学園アリス、彼氏彼女の事情、純情ロマンチカ、高校デビュー、乙男、紅色 HERO、BECK、S.A、NANA、あかね色に染まる坂、ハチミツとクローバー、ドラえもん、xxxHolic、キッチンのお姫さま
忍者	12	NARUTO、バジリスク、カムイ伝、烈火の炎、月のしっぽ、忍空、忍者ハットリくん、史上最強の弟子ケンイチ、サムライチャンプルー、サムライディーパー KYO、魔法先生 ネギま!、風光る
侍	9	バガボンド、サムライチャンプルー、るろうに剣心、サムライディーパー KYO、大奥、ちょっと江戸まで、風光る、あまつぎ、無限の住人

2.2 方法

(1) ジャンル用語

① 作品別データの抽出

上記の作品から、まず、当該ジャンルに特徴的だと思われる用語およびその用語が使用されているセリフを抽出し、電子データ化した。Excelのシート毎に1作品とし、1用語

について作品内で複数回出現する場合は、セリフ列を加えた。この際、名詞だけでなく、動詞、形容詞、副詞、慣用句、オノマトペ（セリフ内）なども抽出するよう留意し、項目とセリフ例にそれぞれ品詞情報も記入した。また、一般的な辞書に現れるような辞書形に限らず、アニメ・マンガによく現れる活用の形、助詞等の省略形式、特殊な表記形式も忠実に取り出した。

②基礎データの抽出

次に、作品毎に分かれたデータを一まとめにし、作品間で重複する用語を整理した。重複用語をまとめる際には、用語の出現数（累計セリフ数）を記録した（例えば、学校用語の「クラス」は34作品で累計116セリフ）。それをもとに、用語を頻度順に並べた。また、類似表現の選択の際、名詞か「する」動詞かなどの品詞判断、動詞を辞書形で取るか、活用された形のままするか、無助詞や助詞の音便化をどうするか、辞書などに現れる表記とは違う特殊な表記をどうするかなどについても、セリフ例で頻度の高いほうの表現を選ぶようにした。以下、恋愛用語からの例を提示する。

品詞 例：モテ (N)、モテる (V)、モテそう (A) →各品詞とも頻度が高いので採用

活用 例：愛してる、寂しくなる、抱かれる、ほっとく →活用された形式で採用

助詞 例：手ェ出す、ちょっかい出す、頼りがいない →無助詞や音便の形式を採用

表記 例：一目ボレ、ユーエツ感、せーせーする →かな書き、長音記号のまま採用

③サイト用データの選定

最後に、この基礎データをもとに、サイト用に用語を1000語まで絞り込み、レベル別に分けた。サイトでは、各レベルは初級200、中級500、上級1000で、10問ごとに3択で意味を選ぶ用語クイズとして利用する。その際、品詞別に選択肢をランダムに提出する形式にする必要があり、各品詞で一定数の項目数が必要となるため、品詞については、名詞、動詞、形容詞の3種類にまとめた。慣用句については、上級に100前後のセットフレーズ用のクイズ形式を別途設けるため、多くを上級レベルに設定した。1000語まで絞り込む際、またレベル毎に分ける際にも、出現頻度を最重視した。そのため、いわゆる日本語教育的な意味での初級、中級、上級ではなく、そのジャンルにおける頻出度を反映したレベルとなっている。

2.3 結果

ジャンル別の用語抽出数とサイト用に選定した項目数は表2の通りである。なお資料1の表5～8にサイト用に選定された各ジャンルのレベル・品詞ごとのデータの抜粋例を示す。⁽¹⁾

表2 ジャンル用語のデータ抽出数

	下調べデータ数		サイト用 用語項目数
	項目	セリフ	
恋愛	1653	2450	1000
学校	3377	6374	1000
忍者	1065	1941	1000
侍	1536	4219	1000
計	7631	14984	4000

3. ジャンル用語の特徴

3.1 データ分析の方法

アニメ・マンガのジャンル用語の特徴を日本語教育的な観点から分析するため、以下の数値的な分析を試みた。

(1) ジャンル用語の日本語能力試験出題基準レベルとの比較⁽²⁾

(2) ジャンル用語の品詞割合⁽³⁾

これらの数値的な結果に基づき、全体的特徴と各ジャンルの特徴について、具体例を挙げながら、質的な分析結果を記述する。

3.2 全体的特徴

(1) ジャンル用語の日本語能力試験出題基準レベルとの比較

各ジャンルの日本語能力試験出題基準レベルとの比較結果は表3⁽⁴⁾に示した通りである。

表3 ジャンル用語の日本語能力試験レベル別分布

	級外	1	2	3	4
恋愛	507	84	195	84	42
	55.6%	9.2%	21.4%	9.2%	4.6%
学校	489	74	215	75	70
	53.7%	8.1%	23.6%	8.2%	7.7%
忍者	553	109	171	49	38
	60.1%	11.8%	18.6%	5.3%	4.1%
侍	691	87	94	20	18
	75.9%	9.6%	10.3%	2.2%	2.0%

この結果から、どのジャンルも級外語彙が半数以上（52.9～75.9%）を占めていることがわかる。つまり、アニメ・マンガ理解のために必要な語彙には、日本語教科書だけでは学べない、特有の表現が多いということが示された。特に、侍・忍者用語は級外語彙が多いが、これらのジャンルでは、固有名詞（徳川、江戸城、伊賀など）やより専門的なジャンル特有の語彙（袷、切腹、手裏剣、陽動作戦など）が含まれていることなどが理由として考えられる。一方、学校・恋愛用語は侍・忍者用語と比べると、級内語彙の割合が多い。この結果は、アニメ・マンガを日本語教育に活用する際には、学校・恋愛などのジャンルの作品には、学習者にとっても馴染みのある既習語が他のジャンルよりも多く出現しており、教材としてより活用しやすいということを示唆しているとも言えるだろう。アニメ・マンガに現れる表現の特徴に関する先行研究として、伊藤（2003）はWebサイト上にある英語圏ファン向けの「アニメ・マンガ」用語集の構造と基本用語の特徴を分析し、その中には「Kawaii」「-chan」など日常会話で頻繁に使用される日本語の話し言葉表現が多く含まれ、一般的な特定分野の用語集とは異なり、専門語の集合ではないことを指摘している。今回の結果でも、学校用語には「ともだち」（4）「質問」（4）「バイトする」（3）、「同じ」（4）、「マジメ」（3）など、恋愛用語には「一番」（4）「タイプ」（3）「別れる」（3）「大好き」（4）「かわいい」（4）など、日本語能力試験3～4級レベルに該当する日常的な語も多く含まれていた。特に、サイトの初級200の中の3～4級レベルの割合は、中級500、上級1000より多く、アニメ・マンガにもっとも頻繁に現れるジャンル用語には日常生活にも応用可能な表現がかなり含まれているといえる。また、学校・恋愛用語ともに、2級語彙の割合は2割を超えており、中級レベルで語彙を広げるために、オーセンティックな教材としてアニメ・マンガを活用する可能性も考えられるだろう。

（2）ジャンル用語の品詞割合

各ジャンル用語の品詞の分布を表4に示した⁽⁵⁾。

表4 ジャンル用語の品詞分布

	名詞		動詞		形容詞	
	用語数	%	用語数	%	用語数	%
恋愛	405	45%	285	31.7%	210	23.3%
学校	732	79.3%	151	16.4%	40	4.3%
忍者	548	59.7%	296	32.2%	74	8.1%
侍	629	69.7%	191	21.2%	82	9.1%

この結果から、ジャンルによって、品詞の割合がかなり異なることがわかる。

まず、名詞の割合が圧倒的に多いのは学校用語であり、8割近くを占めている。学校用語には「生徒、担任、理科室、運動会、期末」など漢字熟語が多いことなどが名詞の割合の高さの要因であろう。また、侍用語も6割強と名詞の割合が多いが、これも「道場、修行、礼、戦（いくさ）、剣術、殺気」など専門的な漢字語彙が多いことなどが理由である。

一方、動詞の割合については、忍者と恋愛が3割を超えている。忍者では「戦う、逃げる、隠れる、斬る、倒す」などアクション系の動詞、恋愛では「あきらめる、告白する、つきあう、まつ、ホれる、別れる」など恋愛の展開に関するもの、「怒る、後悔する、ドキドキする、動揺する」など気持ちの動きを表す動詞が多いことが特徴的である。

そして、形容詞については恋愛用語が23.3%と、忍者・侍の3倍、学校の5倍の割合である。これは、恋愛用語には容姿「かわいい、キモイ、シブい」性格「頭いい、たのもしい、けなげ」感情「くやしい、うっとーしー、せつない」などさまざまな形容表現が含まれるためである。

これらの結果から、アニメ・マンガを日本語教育に活用する際には、ジャンルによって、異なる品詞に焦点を当てた活動を取り入れるなどの可能性が考えられるだろう。

3.3 ジャンル別特徴

以下、ジャンルごとの特徴を、データの具体例とともに記述する。

(1) 恋愛用語

恋愛用語では、形式面では、語構成や表記などで、他ジャンルと比べ、特徴的なものが多かった。語構成では、混合語、略語や反復語彙、表記ではカナ・かな書き、ひらがなにおける長音記号の多用、漢字やかなの混合表記、などの特徴が見られた。また、内容面では、人の形容（容姿、性格）、感情、恋愛の展開に関する語が多いのが特徴である。

<形式面>

①語構成

混合語 例：フェミ男、ゲットする

略語 例：アピる、告る、ウザい、恥ずい、逆ナンする、イケメン、イメチェン

反復語 例：ラブラブ、モテモテ、みえみえ、バレバレ、いっぱいいっぱい、ウジウジ、チャラチャラする、デレデレする、モヤモヤする

②表記

カナ・かな 例：ケナゲ、ソッコー、キモイ、ダサイ、カッコつける、イチャつく、ホれる、バレる、ジラす、フラれる、デキている

長音記号 例：うっとーしー、やらしー、せーせーする

混合表記 例：半分コ、夫婦ゲンカ、ジャマ者、ジミ系、おフロ上がり

<内容面> 初級200より

容姿 例：カッコいい、かわいい、きれい、素敵、色っぽい、美人、いい男、いい人

性格 例：完璧、わがまま、モテモテ、強引、さわやか、純情、目立つ、優しい

感情 例：うれしい、キライ、幸せ、好き、ムカつく、愛してる、気持ちいい、大好き、本気、イヤ、怒る、嫉妬、不安、会いたい、うらやましい、感じる、恥ずかしい、マジ、イラつく、笑顔、切ない、退屈、大事、つらい、戸惑う、ときめき、迷惑、モヤモヤする、欲望、欲求不満、悲しい、後悔する、楽しい、ドキドキする、欲しい、めげる、めんどくさい

展開 例：結婚する、告白する、つき合う、ホれる、待つ、守る、分かれる、声かける、出会い、できる、浮気する、告る、失恋、出会う、フラれる、おごる、からかう、がんばる、傷つく、気になる、嫌われる、信じる、話しかける、愛する、相手にする、憧れ、アピール、奪う、追いかける、我慢する、勘違い、好意を持つ、断る、ジラす、手を出す、取り乱す、逃げる、寝る、バレる、一目ボレ、ほっとく、ラブラブ、あこがれる、うまくいく、うわさ、ケンカする、恋する、紹介する

(2) 学校用語

学校用語は、他のジャンルに比べて、教科書にも現れるような、より一般的な語が多かったが、形式面での特徴を挙げると、略語や造語的な動詞(カナ2字+)、カタカナ表記の語など、若者言葉が目立った。また、「～部」「～室」など、特定の接辞による語彙グループが認められた。内容面では、勉学や学校施設に関連する語の他に、人物に関する語、人間関係に関する語が多かった。また、学校外の日常生活に関する語も少なからずあった。

<形式面>

① 構成

略語 例：バイトする、コンビニ、シャーペン、ゲーセン、チャリ、チャリ通、天パ、インテリ、元ヤン、写メ

カナ+る 例：サボる、キレる、ナメる、チクる、ビビる、シめる、バレる、フケる、カモる、グレル、ダブる、ミスる

接辞 例：部(高等部、初等部、バレー部、コーラス部、野球部など)
室(教室、職員室、保健室、部室、音楽室、生徒会室など)
生(先生、転校生、女子高生、優等生、同級生、特待生など)
長(理事長、部長、校長、部長、生徒会長、店長など)

② 表記

カナ 例：カゼひく、イジメられる、カバン、ケンカする、メシ、ウチのクラス、ポーっとする、ジャマする、バカ、マジメ、ヤバイ、ウザイ、ギリギリ、シカトする、ダチ、ゴロゴロする、テンパる、ズルい、ダルイ、チョロ

イ、ヤキ入れる、イビキをかく、ハラがたつ、ヤマをはる、イヤがらせ、ボンボン、ワル

<内容面> 初級200より

- 人物 例：生徒、友達、先生、先輩、転校生、教師、親、女子、担任、不良、理事長、小学生、部員、部長、男子、中学生、校長、先公、主将、同級生、ヤンキー、委員長、学級委員、親友、生徒会長、みんな、マネージャー、教頭、特待生
- 施設 例：学校、高校、教室、学園、部屋、大学、寮、保健室、職員室、校舎、校内、屋上、廊下、食堂、幼稚園、学食、プール、塾
- 勉学 例：勉強する、教える、テスト、体育、宿題、補習、点、解く、問題、数学、期末、合格する、ノート、教科書、答え、受験、成績、課題、最下位、居残りする、プリント、採点する、塾、推薦する、レベル、訳す、サボる、教える、教育する、採点する、覚える
- 人間関係 例：協力する、イジメられる、キレる、ケンカする、応援する、ムカつく、怒られる、ジャマする、つるむ、呼び出す、浮く、
- 日常生活 例：カゼひく、休む、そうじする、おこづかい、風呂、トイレ、鍵、眼鏡、着替える、参加する、早起きする、準備する

(3) 忍者用語

忍者用語の特徴は、動作語彙の多さである。先に述べた品詞分布でも動詞が多いことは指摘したが、名詞として採用しているものの中にも動作性名詞が多くあった。内容面については、戦いなどアクションに関する語に加えて、自然や身体に関する語も多かった。また、忍者らしい武器や道具の語も見られた。

<形式面>

① 品詞の特徴

- する動詞 例：油断する、利用する、始末する、集中する、修行する、全滅する、我慢する、白状する、無茶する、失敗する、護衛する、通用する、突破する、監視する、拷問する、覚悟する、苦戦する、潜入する、体得する、回復する
- 動作性名詞 例：攻撃、修行、封印、勝負、暗殺、報告、命令、同様、捕獲、苦悩、指導、尾行、偽装、出動、処理、鍛錬、治療、警戒、自害

② 表記

- カナ 例：ツボ、クズ、ムキになる、バレる、ヘトヘト、キズをつける、ケタが違う、コツ、カタをつける、ボンクラ

<内容面> 初級200より

- 自然 例：霧、木の葉、風、火、森、雪、雲、土、水、山、雨、音

身体	例：血、目、影、鼻、耳、手、口、足
道具	例：手裏剣、毘、巻物、道具、薬、火薬、毒、薬草、鏡、剣、刀
術・技	例：術、技、幻術、体術、印を結ぶ、化ける、分身
戦い	例：殺す、逃げる、狙う、攻撃、死ぬ、守る、殺る、幻術、作戦、体術、倒す、戦う、敵、見切る、油断する、襲う、隠れる、勝負、暗殺、勝つ、探す、スキ、消す、始末する、全滅する、追う、斬る、死、争い、急所、落ちる

(4) 侍用語

侍用語の形式面では、他ジャンルに比べ複合動詞が多く見られ、しかも、特定の動詞がよく使われていた。また、漢字の使われ方が特徴的で、熟字訓や漢字一字の語が多く見られた。また、漢字語彙が非常に多い中で、敢えてカナ表記を利用しているものも見られた。内容面では、戦いに関する語の他、人物を表す語、修行、生死に分類される語が多く見られることがわかった。

<形式面>

① 構成

複合動詞 例：斬り殺す、生き残る、投げ入れる、乗り込む、討ち落とす、打ち殺す、討ちとる、斬り捨てる、たたき斬る、つけ狙う、見届ける、追い込む、追いつめる、追っ払う、斬り倒す、立ちすくむ、立ち向かう、引き止める、振り下ろす

表出形の採用 例：すまぬ、参った、達者で、出あえ、恥ずかしながら

② 漢字語彙

熟字訓 例：雑魚（ごこ）、太刀（たち）、旅籠（はたご）、許婚（いいなづけ）素人（しろうと）、月代（さかやき）、猛者（もさ）、破落戸（ごろつき）、生業（なりわい）、七首（あいくち）竹刀（しない）

一字語 例：剣、刀、侍、命、金、酒、己、京、鬼、名、礼、戦、力、敵、技、腕、獣、師、童、女、仇、膳、血、恥、輩、首、藩、故、勘、流、暇、面

③ 表記

カナ 例：スキ、クズ、ケリをつける、ビクともしない、カタをつける、ケンカを売る、タダ飯、ロクな者

<内容面> 初級200より

人物 例：侍、坊主、己、武士、医者、浪人、剣客、旦那、小娘、師、用心棒、落人、人斬り、ふぬけ、女、仇、代官、町人、野武士、剣豪、百姓、輩、剣士、罪人、死人、達人、使い手、当主、無礼者、許婚、御庭番、師匠、師範代、大名、手下、遊女、嫁、流浪人、隠密、御仁、助っ人、お尋ね者、間者、辻斬

り、卑怯者、赤子、刺客

武器 例：剣、刀、槍、太刀、木刀、脇差し

地名 例：江戸、関ヶ原、京、大坂

修行 例：道場、修行、強くなる、稽古、弟子、武者修行、手合わせする

戦い 例：斬る、倒す、逃げる、相手、許す、勝つ、勝負する、戦う、戦、敵、殺気、かわす、よける、怪我、相手する、勘弁する、抜く、間合い、負ける、試合、立ちあう、攻める、対峙する、油断する、スキ、手出しをする、参った、負け、通用する、暴れる、襲う、急所

生死 例：死ぬ、殺す、命、覚悟する、生きる、殺る、命を懸ける、切腹、仇討ち、打ち首、討つ、成敗する、生き延びる、始末する

4. おわりに

4.1 分析結果のまとめ

アニメ・マンガのジャンル用語の数値的、質的分析により、以下の点が明らかになった。

- 1) 4ジャンルとも、日本語能力試験の級外語彙が半数以上を占めており、アニメ・マンガに現れる用語には、通常の教科書や辞書の掲載語彙とは異なる、ジャンル特有の語彙があることが認められた。
- 2) 侍・忍者ジャンルには固有名詞や専門的な語彙が多いが、学校・恋愛ジャンルは比較的日常的な表現が多い。特にサイトの初級用語、つまりアニメ・マンガにおいて出現頻度の最も高い語彙には日本語能力試験の3、4級語彙も多く含まれている。また、学校・恋愛ジャンルは2級語彙の割合が高かった。
- 3) ジャンル毎に品詞割合における特徴がある。名詞の割合が多いのは学校・侍ジャンル。特に学校は8割と顕著。動詞の割合が多いのは忍者・恋愛ジャンル。忍者はアクション系の動詞、恋愛は恋愛の展開や感情の動きを表す動詞が多い。形容詞の割合が高いのは恋愛ジャンル。容姿、性格、感情を表す形容詞が多い。
- 4) 各ジャンル用語の形式面の特徴として、恋愛ジャンルは、語構成では、混合語、略語や反復語、表記ではかな・カナ書き、長音記号の多用、漢字やかなの混合表記、などの特徴が見られた。学校ジャンルは、略語や造語的な動詞(カナ2字+る)、カタカナ表記の語などが多く、また、特定の接辞による語彙グループが認められた。忍者ジャンルは、する動詞、動作性名詞など動作を内包する形式が特徴的である。侍ジャンルでは、複合動詞が多く見られ、漢字の使われ方においても、熟字訓や漢字一字の語が多いなどの特徴がみられた。全ジャンルに共通して、カナ書きをする語が見られたが、これは、ジャンルに関係なく、俗語らしさを演出するマンガの日本語の特徴だと言える。
- 5) 各ジャンル用語の内容面の特徴として、恋愛ジャンルは、人の容姿、性格、感情、恋愛の展開に関する語が多かった。学校ジャンルは、勉学や学校施設に関する語の他に、

学生生活に関連する人物、人間関係、日常生活に関する語がみられた。忍者ジャンルは、戦いなどアクションに関する語に加えて、忍者の道具や術、また自然や身体に関する語も多かった。侍ジャンルも、戦いに関する語のほか、修行、生死に分類される語、また職業や階級など人物を表す語も多く見られることがわかった。

4.2 日本語教育への応用

以上のような、アニメ・マンガのジャンル用語の特徴を踏まえた日本語教育への活用としては、次のような点を指摘したい。

まず、一般的なカリキュラムの日本語教育へのアニメ・マンガの利用を想定する場合、レベルについては、生のアニメ・マンガ作品に現れる日本語を初級から利用するのはやや難しいと考えられる。中級以上なら、語彙を広げるのに適した素材となる可能性があるだろう。また、ジャンル別には、学校・恋愛ジャンルの作品は、比較的素材として利用しやすいと考えられる。

一方、今後は一般的なコースでマンガを利用するというだけでなく、アニメ・マンガ好きの学習者のニーズに対応した「アニメ・マンガの日本語」コースや特別授業といったものがあるといいのではないだろうか。特定ジャンルに興味のある学習者を対象とすることで、ジャンルごとの用語の特徴を生かした活動を取り入れることができるだろう。「アニメ・マンガの日本語」Web サイトの「用語クイズ」では、用語の意味を選ぶ3択クイズの後に、各用語を利用したセリフ入りのコマ画による解説をつけている(図1)。このコマ画におけるセリフはデータ抽出時に作成した基礎データ内の実際のマンガのセリフ例を参考に、コマ画制作者(マンガ家)が場面を設定し、セリフも作成している。そのため、日本語教育的な例文ではなく、アニメ・マンガ的なセリフとなっている。生の作品の利用に替えて、選定されたジャンル用語とともに、このコマ画解説(マンガとセリフ)を印刷・加工するなどして、ジャンル別の学習素材として利用することもできるだろう。



図1 コマ画解説画面(例:恋愛用語「大好き」)

今回明らかになった、ジャンル用語の特徴を生かした活動としては、以下のようなものが考えられる。

学校ジャンルについては、学習者にとっても身近な名詞などの用語が多いため、学校用語から抜粋した用語一覧から、～部、～室などのシリーズ名詞をカテゴリーごとに分類するなど、学校名詞を整理する活動が考えられる。発展させて、学校ジャンルのマンガから、それらの実例や関連語を探し、増やす活動もできるだろう。それらの用語を用いて、自分の学校（あるいは架空の学園）を舞台にし、グループで日本語で短い学園マンガを描くなどの活動につなげてもいいだろう。

恋愛ジャンルなら、形容詞や動詞の利用が考えられる。例えば、アニメ・マンガの登場人物について、容姿や性格を描写する人物紹介などの活動が考えられる。また、感情を表す形容詞について、マンガから探し、話者がどんな気持ちなのか考え、気持ちを込めてセリフを言ってみる活動なども効果的だろう。また、恋愛の展開に関する動詞を複数選んで、二人の関係はどうなるかなど恋愛のストーリー展開を考え、プロットを記述する、あるいは逆に、短編の恋愛マンガを読んで、その要旨を記述するなどの活動も考えられる。

忍者ジャンルなら、基本的な忍者の動作に関する動詞をマンガの絵とともに導入し、TPRのような形で忍者訓練として、動作で反応するといった活動も考えられるだろう。また、火、水、土など忍者でよく用いられる自然カテゴリー別に、関連する術などの用語をまとめたり、新しい術名を考えて紹介する、修行プランや任務遂行計画を考えるなどの活動も考えられる。

侍ジャンルは、全体的に専門性が高いのが特徴であるが、名詞が多いため、人物、武器など事物については、マンガ絵を利用し、用語とマッチングするなど、マンガの視覚的な理解補助の側面を有効に活用するといいたいだろう。一方、用語の中には武士道精神面など、概念的な語も多い。侍ジャンルを好む学習者の場合、文化的な興味・関心も活用し、実際のマンガのエピソードなどをもとに、それらの用語について解説を加えたり、話し合いに発展させたりするというのも効果的だろう。

本稿では、アニメ・マンガのジャンル用語の特徴について、データの数値的・質的分析を行うとともに、その結果に基づき、アニメ・マンガのジャンル用語の特徴を生かした日本語教育への活用案を提示した。これらの案を現場での実践につなげることを今後の課題としたい。

〔注〕

- ⁽¹⁾ 学校、忍者、侍ジャンルは、クイズの仕様により、同じレベルにまとまった数の同一の品詞の用語が必要であるという制限から、初級レベルには形容詞を設定していない。
- ⁽²⁾ 日本語能力試験は2010年から新試験として2級と3級の間新たなレベルが設けられ、N1～N5の5レベルとなったが、出題基準は非公開であるため、この分析は、公開

されている旧試験の出題基準（国際交流基金・日本国際教育協会2004）で示された語彙レベルに基づいて行った。

- (3) 品詞設定については、サイト用データの性質上、名詞、動詞、形容詞の3分類にしているため、一般的な品詞分類とは異なる。例えば、一般的に名詞や形容詞とされるものも、セリフ内で「する」や補助動詞と組み合わさっている形式の出現頻度が高い場合は項目語は動詞とする（例：バイトする、ボーッとする、ムラムラする、強くなる）、副詞や形容詞活用が含まれる複合的用法の場合、形容詞に含める（無論、うかつに、百年早い、ナゾっばい）など。
- (4) 各ジャンル1000項目の用語のうち、各80～130のセットフレーズ（例：サバを読む、席に着く、一服盛る、筋を通す）が含まれるが、セットフレーズは日本語能力試験出題基準によるレベル判定の対象外とした。
- (5) セットフレーズは品詞別割合の対象外とした。

謝辞：本論文の執筆にあたり、国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員の川嶋恵子氏には、共同研究者として、データの提供および分析において多大なる協力を得た。ここに深謝の意を表す。

〔参考文献〕

- 伊藤雅光（2003）「英語圏における日本の漫画・アニメ用語集の構造と基本用語の特徴」『日本語学』Vol.22、No.12、2003年11月号、66-74、明治書院
- 熊野七絵・廣利正代（2008）「『アニメ・マンガ』調査研究—地域事情と日本語教材—」『国際交流基金日本語教育紀要』第4号、55-69、国際交流基金
- 熊野七絵（2010a）「日本語学習者とアニメ・マンガ～聞き取り調査結果から見える現状とニーズ～」『広島大学留学生センター紀要』第20号、89-103
- （2010b）「趣味から日本語学習への架け橋～『アニメ・マンガの日本語』Webサイト開発～」『日本語学』4月号、60-69、明治書院
- 熊野七絵・川嶋恵子（2011）「『アニメ・マンガの日本語』Webサイト開発—趣味から日本語学習へ」『国際交流基金日本語教育紀要』第7号、（印刷中）、国際交流基金
- 国際交流基金・日本国際教育協会（2004）『日本語能力試験出題基準<改訂版>』、凡人社

資料 1 ジャンル用語データ例一覧

表 5 恋愛用語例

	初級 200	中級 500	上級 1000
名詞	恋、彼女、気持ち、デート、H、相手、嘘、出会い、本気、恋人、嫉妬、失恋、運命、唇、年上、魅力、モテ、一目ぼれ、理想、連絡、幼なじみ、うわさ、勝負、ホンモノ、いい人、関係	イケメン、異性、遠恋、お姫様、俺の女、きっかけ、記念、興味、薬指、携帯番号、合コン、誤解、作戦、ストーカー、タイミング、温もり、半分コ、負け犬、雰囲気、寝顔、本音、浴衣	赤い糸、一瞬、イベント、うり、O.L、おフロ上がり、お守り、女の武器、彼氏持ち、義理チョコ、くされ縁、倦怠期、刺激、純愛、ストライク、そねみ、罪、手作り、同士、ノロケ話、包容力
動詞	あきらめる、結婚する、告る、つき合う、ホれる、待つ、愛してる、声かける、抱きしめる、泣く、浮気する、怒る、フラれる、会いたい、からかう、めげる、紹介する、ドキドキする	アピる、甘える、イチャつく、恨む、うんざりする、帰りたい、カッコつける、傷つける、くつつける、幻滅する、寂しくなる、騙される、つなぐ、無視する、誘惑する、忘れられない	あたふたする、言い寄る、意気投合する、押し倒す、カマトトぶる、ケチる、捧げる、じゃれあう、好きにして、せーせーする、立ち直る、ちやほやする、デキている、憎む、はしゃぐ
形容詞	カッコいい、キライ、うれしい、幸せ、ムカつく、完璧、大好き、最高、すごい、不安、一緒(に)、うらやましい、恥ずかしい、誠実、切ない、迷惑、モテモテ、さわやか、楽しい、甘い	あっさり、いい加減、臆病、おしゃれ、思い切って、勝手、キツイ、くやしい、真剣、スケベ、特別、情けない、なれなれしい、不器用、変、ユウウツ、マジ、ふさわしい、安らぐ	甘ったるい、イケイケ、エレガント系、男好き、思わせぶり、ガサツ、華奢、ケナゲ、計算高い、嫉妬深い、自然体、育ちがいい、たわいない、ひとすじ、ハイソ、卑劣、もどかしい

表 6 学校用語例

	初級 200	中級 500	上級 1000
名詞	高校、部活、授業、先輩、お弁当、制服、A組、放課後、教室、親、転校生、体育、男子、宿題、カバン、保健室、期末、家庭教師、質問、文化祭、風紀委員、校門、受験、図書館、親友、成績、校則、席替え、プリント、塾	日直、人気、上履き、教科、自習、出し物、答案、保護者、我が校、給食、身体測定、青春、卵焼き、中間テスト、調理実習、仲良し、黒板、サッカー部、実力、キャプテン、クラス分け、更衣室、セーラー服、多数決、共学、チャリ通、進路、通知表	クジ、エース、決勝、ミス中、甲子園、コーヒー牛乳、首席、センター試験、追試、筆記用具、アルバム、遠足、ガリ勉、義務教育、古文、私語、伝統、文武両道、見本、落書き、暗記、おむかえ、ガクラン、九九、授業参観、焼却炉、ひざ丈、笛
動詞	遅刻する、勉強する、サボる、卒業する、協力する、イジメられる、合格する、そうじする、ケンカする、応援する、貸す、ポーっとする、怒られる、覚える、徹夜する、準備する、着替える	見学する、移動する、中退する、バれる、当てる、写す、落ちる、ゴロゴロする、特訓する、習う反抗する、復習する、ふざける、夜更かしする、あがる、勧誘する、集中する、なじむ、両立する	猛勉強する、おしおきする、監督する、競争する、グれる、出席する、立たされる、チャホヤする、告げ口する、ねぼける、教わる、すべる、骨折する、正座させられる、募集する、燃える、浪人する
形容詞	なし	同じ、頭いい、ちゃんと、マジメ、ヤバイ、優秀、ギリギリ、足速い、オンチ、厳しい、騒がしい、スポーツ万能、ズルい、ダントツ、仲悪い、チンパンカンパン	柔軟、品行方正、タチが悪い、できが悪い、怠け者、わすれんぼ、ワル

表7 忍者用語例

	初級 200	中級 500	上級 1000
名詞	忍、術、手裏剣、任務、攻撃、くノ一、仲間、里、霧、血、罨、命、掟、修行、道具、封印、伊賀、葉、幻術、作戦、敵、能力、巻もお、破る、油断する、隠れる、傷、毒、暗殺、風、スキ、役目	危険、変わり身、英雄、皆伝、指南、秘術、変化、足跡、おいろけ、奥義、殺気、正体、書、致命傷、不死身、水ぐも、あかし、一撃、依頼、火遁、禁じ手、曲者、人質、山奥、裏切者、結構、	空蝉、こぶし、忍び狩り、洞察、盲点、雨隠れ、一式、煙幕、落とし穴、眼力、見参、宿敵、接近戦、旋風、死角、脱落、追跡、月影、毒草、反射神経、悲鳴、道連れ、陽動作戦、襲撃、姿形
動詞	殺す、脱げる、狙う、死ぬ、守る、認める、動く、倒す、戦う、強くなる、見つける、戻る、渡す、捜す、つける、抜ける、利用する、生きる、かかる、消す、避ける、飛び込む、失敗する、追いつく	闘う、護衛する、突破する、封じる、監視する、心得る、解ける、伏せる、あなごる、操る、おびきよせる、解散する、覚悟する、仕組む、しまった、潜入する、真似る、結ぶ、気絶する、耐える	まぎれる、躊躇する、手こずる、潜む、案じる、生き返る、犬死する、臆する、交わす、駆使する、くらます、察する、しびれる、的中する、なめる、ひるむ、復讐する、紛れ込む、見通す
形容詞	なし	特別、大切、危険、早く、無事、見事、優秀、痛い、恐ろしい、完璧、素早く、辛い、手荒い、足手まとい、泣き虫、不気味、不利、弱い、あくどい、甘い、うかつに、エリート、臆病、過酷、慎重に	用心深い、いっばしの、憐れ、上出来、むざむざ、もはや、ゆえに、無謀、まこと、不覚、大した、とっておき、汚れた、光栄、不吉、元も子もない

注:表7の内容は、平成23年5月12日に修正したものである。

表8 侍用語例

	初級 200	中級 500	上級 1000
名詞	剣、刀、江戸、侍、相手、関ヶ原、命、酒、坊主、道場、名、礼、戦、武士、剣術、殺気、浪人、旦那、稽古、槍、腕、師、用心棒、弟子、人斬り、武者修行、屋敷、身分、恥、容赦、切腹、仇	恨み、お上、下衆、御免、姫、猛者、朝餉、親分、恩、廓、家、鞘、関所、道理、武将、鬻、門下生、礼儀、跡取り、お忍び、合戦、竹刀、真剣勝負、道中、寝床、羽織、将軍、助太刀、大儀	相棒、居合、居候、器、奥方、仇討、瓦版、御意、薬売り、屈辱、下手人、口上、策、屍、素手、他国、罪、天下一、旗本、武士道、政、冥土の土産、紋、鬼の形相、形見、義理、戦場、必殺
動詞	斬る、死ぬ、倒す、逃げる、殺す、許す、覚悟する、勝つ、旅する、衛る、さがる、殺る、かわす、出世する、名乗る、よける、たち合う、捕まる、継ぐ、攻める、油断する、参った、成敗する、	失せる、酌をする、帯刀する、であえ、手打ちにする、ひつとらえる、流浪する、かくまう、構える、失礼仕る、人払いをする、甘く見る、肝が据わる、降参する、楯突く、詫びる、存ずる、研ぐ	往ぬ、命乞いする、騙る、斬り捨てる、参上する、しょっぴく、脱藩する、たのもう、念仏を唱える、敗れる、怖気づく、お縄につく、堪忍する、逆恨みする、土下座する、加担する、裁く、勤める
形容詞	なし	強い、失礼、無事、怖い、まことに、弱い、無礼、小ざかしい、達者で、貧乏、無茶、のめのめと、卑怯、見事、筋がいい、しぶとい、無論、質素、あっぱれ、腹黒い、穩便に、しかと、情けない	左様、肝が小さい、恥ずかしながら、道すがら、いざ、命知らず、腕利き、抜きんでる、非情、見かけ倒し、非凡